

## V-46 千厩分教室小学部・中学部

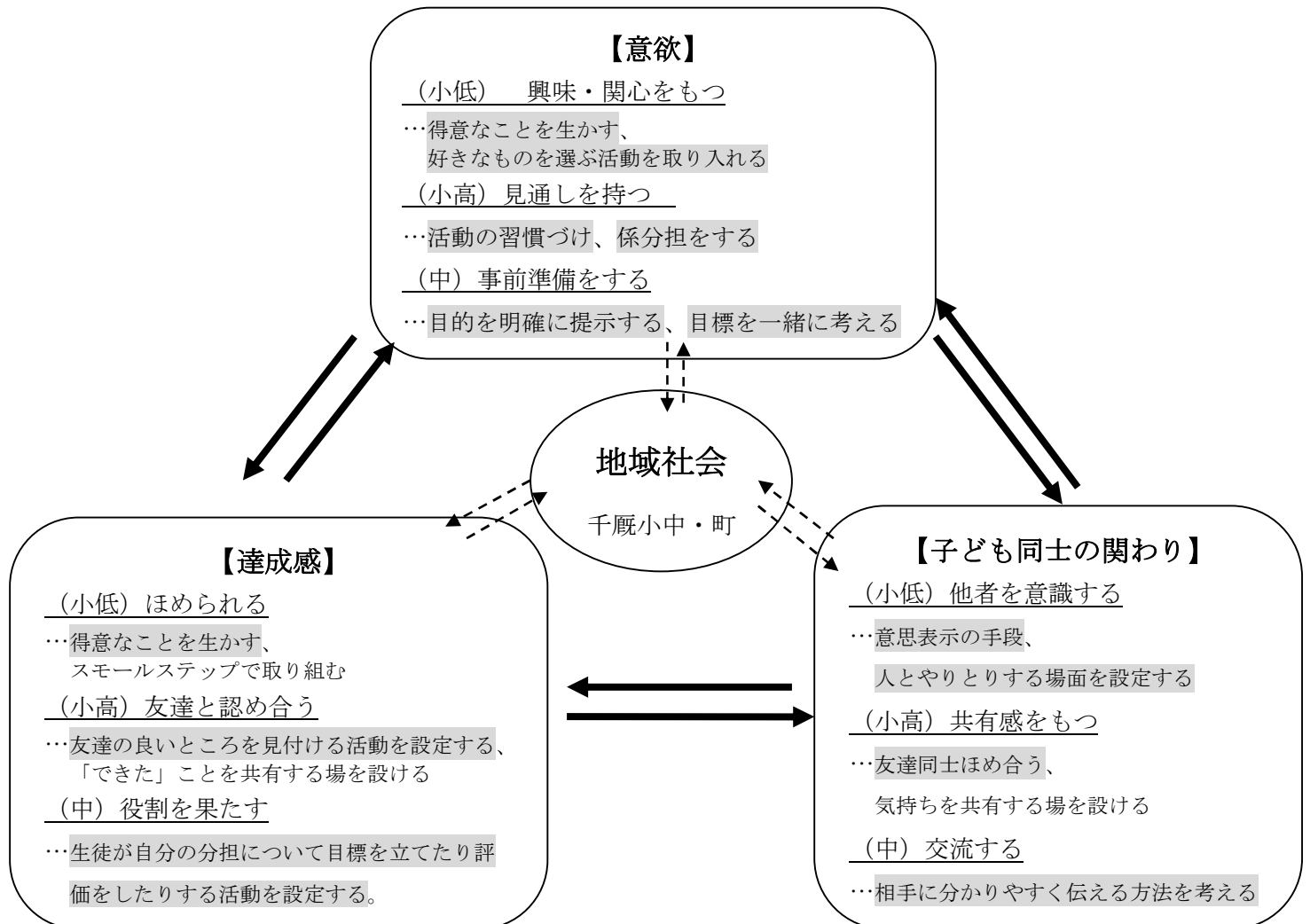
### 1 授業研究会について

千厩分教室児童生徒は、それぞれ千厩小学校、中学校内にある分教室に在籍している。知的通常学級と特別学級があり、ともに生活している。「自己有用感の向上」のために大切な事項を明確にすべく、分教室にある3つの全学級で授業研究会を行った。

その結果、3つの研究授業において共通して挙げられた「自己有用感の向上のために大切な事項」があったため、それをキーワードにして以下にまとめる。

### 2 発達段階に応じた有用感・有用感向上のための支援について

#### (1) 授業実践を通して得られた有効な支援



## (2) まとめ

キャリア教育において、小学部段階では「総合生活力」を中心とした学習内容であり、中学部では「将来設計力」の比重が増し、学年が進むにつれて学習内容が発展していることを確認できた。

また、千厩分教室は、小学生や中学生と日頃から生活の場を共にしていることや積極的に地域に出での学習を行っていることから、集団生活の中で人とのふれあいが多く、同調性が育まれるといったコミュニケーション面や集団意識の成長があり、上記のキーワードが導き出された背景と関連している。

教師は児童生徒と地域社会をつなぐ役割を担っている。指導を継続することによって児童生徒の価値観・職業観が育まれ、将来の生き方を考える態度が身についていくことがキャリア教育であることを共通理解とし、地域に根ざした環境を生かししながら指導に取り組むことが大切であると考えた。